シオンだより

発行　社会福祉法人　思恩会
児童家庭支援センター　シオン（七窪思恩園内）
TEL0235（68）5477　Fax0235（68）5478
Email:tzion@shionkai.hs.plala.or.jp
発行責任者　　所長　佐 藤 以 中
平成２４年度　１０月　第１６号

１１月は「児童虐待防止推進月間」です。

児童虐待に関する相談件数は依然として増加傾向にあります。特に子どもの生命が奪われる重大な事件も後を絶ちません。そのため、虐待の発生予防、早期発見・早期対応の総合的な支援が必要になります。家庭や学校、地域など社会全般にわたり、深い関心と理解が得られるように、児童虐待防止のための公報・啓発活動など種々な取り組みを実施し、この問題に各界各層の幅広い人々の理解を深めていくことが不可欠です。

２４年度の標語　『気づくのは　あなたと地域の　心の目』

「虐待を受けたと思われる子ども」を見つけた時の連絡は－－－

「虐待を受けたと思われる子ども」を見つけたときや、ご自身が出産や子育てに悩んだときには、児童相談所や市町村の窓口に連絡してください。

児 童 相 談 所 全 国 共 通 ダイヤル

地域の児童相談所に電話をおつなぎします！

☼24 時間つながります。

0570−064−000

☼児童相談所の他にも、保健センター・子育て支援センター・民生児童委員・保育所・幼稚園・学校・警察・児童福祉施設・福祉事務所などが、相談を受け付けます。

児童家庭支援センター　シオンは、

♣緊急時 365 日　24 時間対応します。

相談専用☎番号；０２３５－６８－５４７７

E メール；tzion@shionkai.plala.or.jp

≪シオンの利用方法≫――電話やメール、手紙の他に。

【来所】直接お出でください。予約して頂くと有難いです。

【訪問】来所が難しい場合や相談内容に応じて、訪問相談も受けます。

♣　場所は

児童養護施設七窪思恩園内の二階です。
庄内空港から真っ直ぐ湯野浜に向かう途中にある白い塀の建物です。

★平成２４年度相談支援実績（延件数）　４月～１０月末現在

電話相談	来所相談	訪問相談	通所相談	心理療法	メール相談	手紙相談	その他	合計
471	60	99	68	23	181	7	0	**909**

佐藤初女さんからのメッセージ！

９月２日の『シオンセミナー』では、岩木山の麓で「森のイスキア」を主宰する佐藤初女さんから、「こころをかける子育て」についてお話を聴きました。

ステージには、天気も味方してくれた素敵な鳥海山が姿を現し、静かに優しく語りかける初女さんの声ととても良く調和して、こころ癒される講演会でした。

以下は、９月１１日の山形新聞「やまがた　わいわい子育て」欄より抜粋して掲載します。

心満たされる食事を

食べることは毎日のこと。何もわざわざ大事にするほどのことではないのではと考えがち。だが、イスキアにやってくる人に話を聞くと、食べることが正しく行なわれていないということが一番気に掛かる。おいしいものを作ってあげると、子どもたちも自然とにこにこして優しくなる。たたき起こされても起きない子どもが、朝、ご飯やみそ汁、おかずの匂いに誘われて起きてくるように、それほどの力が食べ物にはある。

食べることがうまくいくと家庭円満になる。おなかがすいてくると、どうしてもぎくしゃくしてしまう。おなかが満たされるだけでなく、心も満たされるような食事をしたい。

私たちは食べなければ生きていけない。野菜も魚も体に入り、私たちの命と一緒に生涯生きていく。食べ物そのものもまた命なのだ。体も心も育んでくれることに感謝して、大切にしていきたいと思う。

《わかちあい》ではーー。

ひとり一人の悩みに真摯に向き合っていただきました。

子どもの一番の手本は大人の生活

【つい大声で叱ってしまう。】

教えなくても子どもは大人のやり方をみていて、直ぐには身に付けられなくても、子どもの中に入っている。だから、あんまり叱らないこと。叱る時もよく考え、タイミングを見て、言葉の工夫をして静かに話す。

ひきこもり、そばにいるだけで違う

【子どもがひきこもっている、どう向きあえばいいのか。】

引きこもっている子はどうしても人前に出たがらないし、仕事にも出たがらない。でも、誰かが一緒ならやることも多い。一緒にやれなくてもそばにいてあげるだけで違う。

揺れ動くことは悪いことではない

【あふれるような情報の中にいても動かされない信念を持ちたい。】

私も揺れ動くことがある。ある先生から「揺れ動いてもいい。幹がしっかりしていればいい。」と言われた。「揺れながら、その時に成長している。」と言う人もいた。風の強い日、か細い木が、葉や枝を揺らしながらも毅然としている姿を見て、言葉の意味が分かった気がした。

それから２０年、立派に育った木を見るたび、揺れるのは悪いことではないと感じている。

子育て交流会で乳幼児の心肺蘇生法を学ぶ！

第１回目の「子育て交流会」では、消防署員の方から、心配蘇生法や、ＡＥＤの使用方法、異物を飲み込んだ場合の対処の仕方を学びましたが、参加者全員が真剣に話を聞き、実習をして、“もしも……。”の場合に備えて勉強をしました。第２回目も予定しております。期日や内容は、チラシやシオン便り等でお知らせしたいと思っています。お茶菓子も用意してありますので、誘い合わせてご参加ください。お待ちしております。